

第13回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成29年8月29日(火) 1330～1430
- 場所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局長
【京都府警察本部】警備部理事官(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長
京丹後市防犯委員会会長
京丹後市交通安全指導員会会長
宇川連合区長会会長兼丹後町尾和区長
丹後町袖志区長
丹後町中浜区長
網野町島津連合区長
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

I 経ヶ岬通信所における状況等

- (1) 工事等の状況
- (2) 交通事故の状況

II 住民の安全・安心

- (1) 交通安全に対する取組
- (2) 交通誘導及び巡回警備
- (3) 環境調査

III 日米交流及び地域振興策の状況

- (1) 日米交流
- (2) 生活・産業への影響に対する対策

IV その他

- (1) 航空自衛隊工事
- (2) 近畿中部防衛局広報誌について

○米軍経ヶ岬通信所挨拶

- ・ 現状報告として、生活関連施設の工事開始は予定通りであり、米陸軍工兵隊が商用電力と生活関連施設の工事契約に向けた入札の準備を順調に進めている。商用電力については、今年の夏から必要機材を製造し、完成したら経ヶ岬通信所へ搬入される予定である。冬頃には商用電力の工事開始を予定している。経ヶ岬通信所が熱心に取り組み、工事が順調に進むよう努力していることをどうぞご理解いただきたい。
- ・ 私たちは継続して安全運転に努めている。冬季の安全運転の重要性を理解しており、

道路状況が一変することも十分承知しているため、2回開催される冬季の交通安全講習会には、新しい職員及び参加可能な職員を参加させたい。また、この地域に不慣れな新しい職員が車を運転する前の準備として、近畿中部防衛局が提供する交通安全教育DVDの使用を継続する。さらに、安全運転の重要性を再認識させるために、職員に対して注意喚起を毎週実施してきた。

- ・ 最後に、改めて、私たちを受け入れてくださっている地域の皆様に感謝したい。先週、基地を開放して地域の皆様に招待するイベントを行い、また、穴文殊祭では屋台を出店した。これからもこの素晴らしい関係を続けていきたいと思っている。引き続き、関係機関及び住民の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

○出席者の意見等の概要

(1) 第Ⅱ期工事

【意見要旨】

- ・ 9月末までに工事業者が決定される予定であり、工事に係る安全対策等については現在調整中とのことだが、第Ⅱ期工事に係る安全管理やスケジュール等はどのように市民に知らせていただけるのか。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍の第Ⅱ期工事に関しては、現在、米側において工事業者を選定中であり、工事に係る安全対策等の細部については、今後、米軍及び米軍が契約する工事業者と調整していくこととなる。これまでご指摘いただいた安全対策やスケジュールについては、工事業者が決定すれば、袖志区及び尾和区の方々を中心に、地元の皆様に情報提供を行っていきたくと考えている。具体的なご説明については、京丹後市をはじめとする関係機関や袖志区及び尾和区の皆様とご相談しながら実施していきたく。いずれにしても、工事にかかる安全対策には万全を期して参りたい。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 国道沿いの工事となるが、工事期間中は、航空自衛隊の工事と同様の柵を設置していただけるのか。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍の第Ⅱ期工事にあたっては、周辺住民の皆様の安全・安心に十分配慮がなされるよう、第Ⅰ期工事や航空自衛隊の工事と同様に取り組むということが、当局と米側の基本的な考えである。米側は、工事期間中の安全管理等の観点から、工事区域を囲む仮囲い柵を設置する計画である。この柵については、地元住民の通行の安全管理や防塵等の観点において効果を有する柵を設置するよう米側と調整しているところである。繰り返になるが、現在、米側において工事業者を選定中であるため、工事内容等の詳細については、工事業者が決定すれば、地元の皆様に情報提供を行って参りたい。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 基地周辺は国定公園に指定されているため、地元としては、自然景観や生活環境に配慮した施設としていただきたいが、お考えをお聞かせ願いたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍経ヶ岬通信所周辺が国定公園に指定されていることは十分認識しており、第Ⅱ期工事に際しても、景観に配慮することは重要であると考えている。米側は周辺の景観に馴染むよう、建物の配色は緑色にすることを計画している。（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

- ・ 丹後町此代から米軍経ヶ岬通信所までの区間には道路幅が狭い区間も多い。第Ⅱ期工事の安全対策やスケジュールについては、袖志区、尾和区だけではなく、関係する宇川住民にお知らせいただきたい。（地域住民代表）

【回答要旨】

- ・ 説明が至らず恐縮だが、当局は、ご説明すべき範囲の皆様にご説明する考えである。京丹後市をはじめとする関係機関や、ただ今のご意見を踏まえながら検討して参りたい。（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

- ・ 現在、航空自衛隊の工事では、丹後町上野のS字カーブに交通誘導員を置いているが、米軍の工事に際しても同様の対応をしていただけるのか。（地域住民代表）

【回答要旨】

- ・ ご指摘の交通誘導員は配置させる考えだが、現時点では米軍の工事業者が決まっていないため、今後、工事業者と調整していくこととなる。いずれにしても、航空自衛隊の工事と同様に交通渋滞や交通事故を防止する施策が必要と考えている。（近畿中部防衛局）

【意見要旨】

- ・ 今年度の後半には、航空自衛隊の工事と米軍の第Ⅱ期工事の時期が重なり、大型工事車両の通行台数が増えることが予想される。地元の意見をよく聞きながら、しっかり交通安全対策に取り組んでいただきたい。（丹後広域振興局）

【回答要旨】

- ・ 地元の皆様のご意見を踏まえながら計画し、またその内容をしっかりご説明していきたい。（近畿中部防衛局）

(2) 商用電力

【意見要旨】

- ・ 商用電力の導入について、少なくとも1か月前倒しをして、夏場の暑くなる前には完了していただきたい。いずれにしても、騒音問題の1日も早い解決に向けて全力で取り組んでいただきたい。（京都府・京丹後市）

【回答要旨】

- ・ 前回の連絡会で、京都府及び京丹後市から厳しいご指摘をいただいたことを真摯に受け止めている。他方、現時点では、具体的に前倒しできる期間を申し上げられる段階には至っていない。米側における受電設備の設計が7月に完了したところであり、これから米本国において一部機器の製作を開始する。当局としては、この進捗状況を厳しく確認し、1日でも早く商用電力の導入が完了するよう努力していく。（近畿中部防衛局）

(3) 交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 交通事故の防止は信頼関係を構築する上で重要である。引き続き、全力を挙げて交通事故防止に取り組んでいただきたい。(京都府)

【回答要旨】

- ・ 交通安全講習会や交通安全教育DVDの活用を行っており、また、当局から米側に対し、機会を捉えて交通事故の未然防止について申入れも行っている。地元との信頼関係を継続するためには、こうした一つ一つの努力の積み重ねが重要だと米側も認識している。当局としては、引き続き、地元のお声を米側に伝えつつ、事故防止に努めていきたい。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 外国人のレンタカー利用の増加を受けて、国土交通省が、外国人に分かりやすい標識や看板の設置などの事故防止策を検討しているとの報道があった。標識にイラストをつけたり、工事中や片側交互通行の看板を多言語表記にしたりすることである。京丹後市でも、それに準じた標識の設置に向けて努力していただきたい。国土交通省は、今後、外国人が事故を起こしやすい場所や原因を特定し、特定できた危険箇所には集中的に安全対策を講じていくとのことなので、積極的に名乗りを上げて、早急な対策の必要性をアピールされることが重要だと考える。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍の第Ⅱ期工事において、イラストの看板等の設置が可能かどうか調整していきたい。(近畿中部防衛局)

【報告要旨】

- ・ 従前よりご意見をいただいております。8月中に設置するとご説明していたスクールバス等へのドライブレコーダーの設置について、予定通り完了したことをご報告する。現在、72台に設置しており、今年度買い換えを予定しているバスについては、買い換え後に導入する計画をしている。(京丹後市)

(4) 近畿中部防衛局広報誌

【意見要旨】

- ・ 前回の連絡会で、大宮町や久美浜町、峰山町など、基地に直接関係のない地域にも広報誌等が配付されれば、住民の理解が深まるだろうと意見したところ、さっそく7月に発行していただき感謝する。予算等の関係上難しいと思うが、今後、配布先の拡大も考慮していただきつつ、引き続きよろしく願います。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 今後とも努力していきたい。(近畿中部防衛局)

(5) その他

【意見要旨】

- ・ 今朝、北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、襟裳岬の上空を通過したとの報道があつて不

安を感じている。車力ではJアラートの訓練を行ったようだが、京丹後市は近畿中部防衛局や京都府と連携して訓練を行う予定はあるのか。(地域住民代表)

【回答要旨】

・ まず、弾道ミサイルに対する防衛省・自衛隊の対応を申し上げれば、自衛隊では他国からの攻撃を未然に防止するため、航空機や艦艇などによる警戒監視活動を常に行っている。万が一、攻撃の予兆などが確認されれば、ミサイルを探知・追尾するレーダーをはりめぐらせ、イージス艦や迎撃ミサイル部隊を展開させるなど、住民の方々の安全を確保するため、万全の態勢をとっている。米軍経ヶ岬通信所に配備されているTPY-2レーダーは、弾道ミサイル防衛システムの一部を構成するものであり、仮に一つのレーダーが無効化されてもシステム全体を無効化することにはならない。このため、経ヶ岬が攻撃される可能性が高まるものとは考えられず、むしろ、我が国の防衛能力の強化に寄与し、抑止力を高める役割を果たしている。その上で、弾道ミサイル落下時の行動に係る国の施策について申し上げれば、ご指摘のJアラートを活用して、防災行政無線でサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせしている。このJアラートに係る訓練については、内閣官房の所管であり、内閣官房と各地方自治体で調整されるものと承知している。(近畿中部防衛局)

・ ご懸念の点について、国民保護を担当している部局に伝える。(京都府)

・ 消防庁より全国の自治体に対して、避難訓練を検討するよう指示があり、どういった形で実施すべきか、関係機関と相談しながら検討していきたい。避難にあたっては、内閣官房からの情報がJアラートで伝えられ、防災無線を通じて住民の皆様へ情報を伝達させていただくことになる。京丹後市では、平素より防災行政無線の試験放送を行っており、先日の日曜日に実施した防災訓練の中では、Jアラートの機能も確認した。市のホームページなどでも弾道ミサイル落下時の行動についてご案内しているので、併せてご確認いただきたい。(京丹後市)

【意見要旨】

・ 区民からは、どこに避難すればよいのかという問合せもある。身に迫って危険を感じている住民もいるので、可能であれば、市の方で避難場所を具体的に指定することも検討いただきたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

・ 現時点では、できる限り頑丈な建物や屋内あるいは地面に伏せるなどが考えられるが、現状として問題意識を持ちながら、窓から離れるなど、今できる行動の範囲で工夫していただくことをお願いしたい。(京丹後市)

【意見要旨】

・ 穴文殊の洞窟の上に設置されたトイレについて、米軍との折衝の具体的内容や、今後のトイレの取扱いについて教えていただきたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

・ ご指摘の建物の設置箇所が、地元が信仰の対象としている穴文殊の洞窟の上であり、ご懸念があることは承知している。これまで、米側に地元のご懸念を正確に伝え、調整を重ねてきたところ、米側は本年2月に使用を中止した。他方、現在も米側と調整を続

けており、現時点では、今後の取扱いについて申し上げる段階にないことをご理解いただきたい。引き続き調整に努めていく。(近畿中部防衛局)

(以上)